



パンフレット AP019  
1998年 7月作成  
工 業 用

セルロース用耐塩素堅牢度向上剤

## チェーエルカットCF - 2 ( C H E R C U T C F - 2 )

反応染料は色相の鮮明さ、高堅牢度等の特徴を持ち、セルロース製品の染色に多く用いられています。しかし、Yellow、Blue系の一部の染料は、他の色相の染料に比べて耐塩素堅牢度に劣り、水道水、プール水中の殺菌用塩素によるセルロース製品の変退色の原因となり、その改善が望まれています。

チェーエルカットCF - 2は、反応染料染色物の耐塩素堅牢度を著しく向上させる耐塩素堅牢度向上剤です。

### 性 質 ・ 性 状

外 観	黄褐色液体
成 分	特殊カチオンポリマー（ポリカチオン型）
イ オ ン 性	カチオン
p H	約 5.5（1%水溶液）
溶 解 性	任意の水に溶解します。

### 特 徴

1. チェーエルカットCF - 2は反応染料・直接染料によって染色されたセルロース繊維製品の耐塩素堅牢度を顕著に向上させることができます。
2. チェーエルカットCF - 2は従来の耐塩素堅牢度向上剤では向上効果が得られなかった流水法（レナウン法）試験においても、耐塩素堅牢度を向上させることができます。
3. チェーエルカットCF - 2は耐光堅牢度（汗耐光堅牢度）の低下が少ない、耐塩素堅牢度向上剤です。
4. チェーエルカットCF - 2はセルロース用フィックス剤と同浴処理できます。
5. チェーエルカットCF - 2は反応染料によって染色されたセルロース繊維製品のNOxガス変退色防止効果にも優れています。

## 使用 方 法

使用する染料の種類・濃度、被染物の種類・形態、処理法により異なりますが、一般的には下記の通りです。

### ( a ) 浸漬法

40 ~ 60 × 20分処理後、水洗、乾燥します。  
 使用量 2 ~ 5 % o.w.f.

### ( b ) 連続処理法

P a d → D r y  
 ( 1 dip , 1 nip )  
 使用量 5 ~ 30 g / L

## 脱フィックス処方

チェーエルカットCF-2の脱フィックス処方としては、還元 酸化処理法が効果的です。

### 還元 - 酸化法

#### 還元工程

{	ハイドロサルファイト	3 ~ 5 g / L	90 ~ 100 × 20 ~ 30分
	ソーダ灰	1 ~ 2 g / L	

#### 酸化工程

{	過酸化水素 ( 35 % )	3 ~ 5 cc / L	90 ~ 100 × 20 ~ 30分
	ソーダ灰	1 ~ 2 g / L	
	EDTA・4Na	0 ~ 1 g / L	
	エフカッター800	2 ~ 3 g / L	

- ・含金属系染料により染色されている場合や、用水中の金属イオン濃度が高い場合等、金属によるトラブルが生じるおそれのある場合には、酸化処理浴にキレート剤 ( EDTA・4Na 等 ) を併用して下さい。
- ・酸化処理後、繊維上に過酸化水素が残留しないよう十分に水洗して下さい。  
 ( 必要に応じて、脱過酸化水素処理を行って下さい。 )
- ・被染物の色相、フィックス剤の使用量によっては還元工程でエフカッター800を使用し、酸化工程を省いた一浴一段処理法によっても脱フィックス可能です。



ご 注 意

使用に際しましては充分試験の上ご使用下さい。

入 目

1 8 kg

取扱いおよび保管上の注意事項

- 1 ) 取扱い中は、直接身体に触れないように保護手袋、保護メガネを着用して下さい。
- 2 ) もし誤って眼や口に入ったときは、直ちに流水でよく洗い流し医師の手当てを受けて下さい。
- 3 ) 皮膚に直接触れた場合は、直ちに流水でよく洗い流して下さい。もし発疹その他の異常が生じた場合は速やかに医師の手当てを受けて下さい。
- 4 ) 取扱い後は手洗い、うがいを充分に行ってください。
- 5 ) 使用途中の容器は密閉し、異物が入らないようにして下さい。
- 6 ) 保管に際しては直射日光を避け、冷暗所（5 ～ 35 ）で保管して下さい。
- 7 ) 廃棄するときは、産業廃棄物として処理して下さい。

お 願 い

弊社発行の「製品安全データシート（MSDS）」を用意しております。併せてご活用下さい。